

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第61号

学校法人 渡辺学園  
発行 総務部総務課  
〒173-8602 東京都板橋区加賀  
1-18-1 電話 (3961) 5226

東京家政大学 大学院  
東京家政大学 短期大学部  
東京家政大学 附属女子中学校  
附属女子高等学校・附属女子中学校  
附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 2013年頭所感 未来に向けて、新しい時代へ、さらに前進 —躍動感のある魅力的な学園改革— … 1面
- 土居則子名誉教授とインド「子どもの憩いの村」関係者が表敬訪問 … 1面
- 第52回緑苑祭 … 2面
- 食ラボ活動「ピンクリボン運動でカラダを見直そう!」・「旅するクッキング」 … 2面
- 知識の宝庫「新聞」を有効活用しよう! … 3面
- はしかに注意!! … 3面
- 学生食堂に電子マネー対応の食券売機を導入! … 4面
- 節電継続にご協力を! … 4面

## 2013年頭所感

# 未来に向けて、新しい時代へ、さらに前進

**目指すべき姿に近づきつつある大学**

明けましておめでとうございませう。

OECD30カ国中9割の国で、女性の大学進学率は男性より高い。女性のキャリア形成過程は、大学卒業後社会に出てある程度の経験後、認識を新たにすることが多いことや、結婚・出産・子育て等人生の節目に



学長 木元 幸一

影響されやすい立場にあるというのが特色です。「自律」を建学の精神とする本学は、女性の生涯に渡るキャリア(人生)支援を実現することです。それは短大・大学・大学院から卒業後までを視野に入れたオール東京家政を構築することです。

本学大学院は、修了年限の弾力化(2~4年)、夜間

開講、高度な専門職業人としての課題解決型修了コースの設定等、キャリアアップを目指す社会人を積極的に受け入れております。

大学院の先にある生活科学研究所は、温故知新プロジェクトを立ち上げ、2年目は外部資金導入も実現しました。人間文化研究所も、岩手大学との共同で災害に関する国際シンポジウムと災害地との連携研究を始めています。研究所は、本学において最も社会に近いポジションに有り、大学と社会との接点となるもので、学内の知的資源を利用して外向きに社会に働きかけるダイナミックな活動が望まれます。そしてそれは手詰まりとなってしまうがちな大学院教育の先行きを照らし、本学の教育研究意識を

## 躍動感のある魅力的な学園改革


**2月末決定 第2回目 渡邊辰五郎賞**

本学園は、平成23年度に創立130周年を迎えました。日本近代の黎明期である明治時代の偉大なる教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して「渡邊辰五郎賞」を創設致しました。渡邊辰五郎賞は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するとともに貴重な貢献をした卒業生に称えるものです。

\* 渡邊辰五郎賞 (1名)  
記念メダル及び副賞 (30万円)

\* 渡邊辰五郎奨励賞 (2名)  
記念メダル及び副賞 (10万円)

既に応募は、12月31日に終了し、現在、渡邊辰五郎賞選考委員会にて、選考を進めており、2月末日に決定致します。詳細につきましては、学園のHPをご覧ください。  
(総務課内「渡邊辰五郎賞」事務局)



**地域社会の 変革に役立つ大学**

明けましておめでとうございませう。

欧州の古い大学は地域社会の要請によって生まれ育てられ、今日に至っているといえます。そのようなことから、今日大学が地域社会の人々の知的学習機関として機能し、その役割を果たしています。

OECDが、世界の大学の教育機関を調査し公開しています。欧州、カナダ、米国に韓国、日本を加え、27カ国の大学の在学生の年齢構成を示したデータを見ると、25歳以上の成人(社会人)の在学生が平均20.6%に達しています。このことは10人に2人が社会人であるということですが、その中で日本の2.7%で、



理事長 清水 司

現在我が国が直面している問題は、急速に進行する少子高齢化、人口の減少、生産年齢人口の減少、産業構造・経済状況の変化、グローバル化によるボーダーレス化、振興国の台頭による国際競争の激化などです。こうした社会変革が求めている人材は、生涯学習を続ける人材、グローバル化に対応し、異なる言語、世代、立場を超えたコミュニケーションができる人材が求められます。それは、みずからの人生と社会の未来を主体的に切り拓く能力を培う教育、地域社会再生の核となる教育機関、生涯学習の

拠点となる教育機関、社会的基盤として役立つ教育機関を必要としています。近年、各大学が生涯学習センターを作っています。21世紀の社会の変化に対応できる学習の機会を作り、提供するにはまだ十分とはとても言えない状況です。これは我が国が明治以来、欧米の教育制度に倣い、初等・中等教育そして高等教育と学齢に従った学校教育を行い、その結果、学校教育が社会人として送り出すための教育機関としてのみ考えられたためです。

本学は人間の生活に関する諸問題を研究・教育しています。これらを総合し変化の激しい21世紀を乗り切る知識と知恵の拠点とならなければと思います。頑張ります。


6月11・12日、土居則子名誉教授(支援者)とインド「子どもの憩いの村」関係者が表敬訪問

6月11・12日、土居則子名誉教授(支援者)とインド「子どもの憩いの村」関係者が表敬訪問

代表 Mrs. Ruth Tumanai Rose、建設を行ったNGO 教育と環境の「爽」企画室 代表の片桐和子氏、NGO NEW HOPE 代表の Ms. Asha Tumanai Rose が来校されました。

今回の訪問は、国際協力機構(JICA) 青年海外協力隊として長年活躍されていた土居則子名誉教授により、JICAでの家政分野技術顧問としての活動経験(現地での技術指導)を活かすことはできないかとの熱い想いにより、実現しました。

12日には、通訳ボランティアとして、大学院修士1年の高橋麻理亜さんと八嶋由紀子さん、市川ゆりえ





# 東京家政大学 × FamilyMart コラボスイーツが発売決定!!

30～50代の男性が多く利用するコンビニの新規客層の開拓を目指して、女子大生が同じ世代に向けたスイーツを考案する今回の企画が実現!応募総数63件から個性あふれるカップデザート3件が最終候補に残りました。

この3作品は、まず工場で試作品が作られ、学生も参加する検討会で意見を出し合い改良を重ねて商品化されました。さらに、カップについている商品シール・POP(販売促進のための広告)デザインは、大3造形の野中麻衣さん、ポスターデザインは、大3造形の堤真凛さん。商品は1月15日から関東と山梨県、静岡県にある3500店舗以上のファミリーマートで販売されますので、ぜひ、ご賞味ください。

<p><b>第2弾</b> (2/15発売予定)</p>  <p>220円(税込)</p> <p>大3管士 中江智英子さん ●「もろみ酢のまるやか ブランマンジェ」 甘酸っぱいもろみ酢入りの ベリーソースと、ブランマ ンジェの相性がバッチリ!</p>	<p><b>第1弾</b> (1/15発売)</p>  <p>240円(税込)</p> <p>大3管士 伊藤仁美さん ●「いちご豆乳和ぷりん」 白玉とあんこをのせて豆乳 クリームを添えた和風プリ ン</p>	<p><b>第1弾</b> (1/15発売)</p>  <p>190円(税込)</p> <p>大4栄養 善方笑子さん ●「ふんわりティラミス ゆず仕立て」 男性の方にもオススメ!ゆ ずの風味がたくさんつま た、さわやかなスイーツ</p>
---	--	---

「食ラボ」は、平成23年秋に、教育・学生支援センターのご協力のもと、学生が主体となつて立ち上げた食生活改善委員会のことです。本格的に活動を開始した24年度は、食ラボの可能性を広げるため、アンケートや食ラボ通信の掲示など、さまざまな取り組みにチャレンジしてきました。

なかでも力を注いだのが、10月27・28日に開催された第52回緑苑祭。10月はピンクリボン月間でもあり、自身のカラダを見直してもらおうきっかけづくりをテーマに企画を立てました。

「食ラボ」は、平成23年秋に、教育・学生支援センターのご協力のもと、学生が主体となつて立ち上げた食生活改善委員会のことです。本格的に活動を開始した24年度は、食ラボの可能性を広げるため、アンケートや食ラボ通信の掲示など、さまざまな取り組みにチャレンジしてきました。

ヘルシーで満腹感が得られる「タニタ定食」の工夫等のお話を伺いました。翌日の28日には、本学卒業生の管理栄養士 浅野まみこ氏(株式会社エビータ代表取締役)が「食生活でもっとキレイになる!」をテーマに、「たびいじよ」のメンバーをお招きしました。第1回目のテーマは、「たびいじよ」の思いでランチプレート(アジア編)。12月には「イギリス式クリスマススパリティー編」を開催しました。

9月29日、食ラボ主催の「世界を食べる」料理教室「旅するクッキング」を開催。ゲストに、一人旅好きの女子が集まった学生団体「たびいじよ」のメンバーをお招きしました。第1回目のテーマは、「たびいじよ」の思いでランチプレート(アジア編)。12月には「イギリス式クリスマススパリティー編」を開催しました。



大盛況! タニタの体組成計測定会



教室も満席! タニタの社員食堂健康セミナー



食生活でもっとキレイになる! 栄養講座



大3管士 佐竹未希

### 研究室訪問 36

**栄養学科 中村也先生** そうではない国は? 先生は、栄養学科で教鞭を執られる他、葉膳の研究、食リンピックや白藤プロジェクトなどを始め、様々な方面で活躍されています。家政大学に来られるまでの経緯を教えてください。母の薦めで高校2年の時に医者への道を決心し、医者を志し勤務してました。その後、省庁に勤め、何かを後世に残していきたいと思い、大学で研究をすることにしました。先生は今まで50カ国以上の外国に行かれたそうですが、なぜ海外に行こうと思ったのですか? なぜなのだろうか?という疑問を解決するためです。例えば、イスラエルに行ったきっかけは、日本人とユダヤ人が世界的に見て優秀なので、その理由を探りたいという思いでした。料理が一番おいしい国と、

今一番したいことは? 人生のエンドステージに向かっているので新しいことはしたくないと思わない。人生をまとめて後世に残していきたいです。その一環として小説も書いています。学生へのメッセージ 自分から行動すること。ただ待っていても、勝利の女神は来ません。オシャレなネクタイについて教えてください。動物のネクタイを中心に集めています。気が付いたら沢山集まっています。海外に行った時に思い出していた買ったものもあります。インタビューを聞いて とても行動力のある先生だと思いました。私も先生を見習いたいです。大3管士 石岡まどか



中村先生 学生記者 (公衆衛生学研究室にて)

## 第52回 緑苑祭

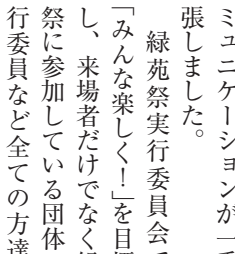
Go to TKU ~未来に加勢せよ!~

「第52回緑苑祭」が10月27・28日に開催されました。当日は、大勢の来場者で賑わいをみせ成功裏に終わりました。今回のテーマは、「Go to TKU ~未来に加勢せよ!」。

今回、実行委員の経験者が多数いましたが、前回と準備の仕方が変わった点も多く、戸惑う場面が多々ありました。委員同士、クラス、サークルの仲間の励ましが心の支えとなり、何とか乗り越えられました。

「第52回緑苑祭の目玉は!」 一言で言いますと、とても大変でした。書類作成の他、運営委員の方とのコミュニケーションが一番緊張しました。緑苑祭実行委員会では「みんな楽しく!」を目標とし、来場者だけでなく緑苑祭に参加している団体・実行委員など全ての方達が、

前回と準備手順が異なっていた部分を把握し、実行委員と共有しながら進めていきました。一人の責任を2倍、3倍に増やしても一緒に運営してくれた実行委員の皆さんには感謝しています。緑苑祭に携わって下さった関係者の方々、本当にありがとうございました。



大2栄養学専攻 山本奈々さん



# 図書館



●新しくなった

図書館資料検索

昨年9月上旬から図書館資料検索の機能がアップしました。みなさんはもうすでに利用していますか? 「まだ」という方は図書館HPにアクセス! 検索結果一覧が見やすくなり、使いやすいさが格段に良くなりました!

レポート作成・課題で図書館を利用することが増えるこの時期、機能アップした図書館資料検索を活用して、図書館の資料を効率的に利用しましょう。

検索の使い方でご不明な点はいつでもカウンターの相談係にお尋ねください。もちろんレポート作成でお悩みの質問もお待ちしています。



●図書館の表紙を表示  
●関連項目(出版年など)から結果の絞り込み  
...など。

## ●文献の探し方説明会

2月に卒業論文・修論を作成する方を対象に説明会を実施する予定です。詳しい日程は決まり次第お知らせします。ぜひご参加ください。

## ●第52回緑苑祭に参加

本学が推進するピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、早期発見・早期診断・早期治療を啓蒙・推進することを目的としています。

ピンクリボン運動に賛同した大3管士・服美、大2栄養の学生有志3団体がコラボし、ヒューリップのスペースでカフェや展示、手作り雑貨の販売を行い、売り上げはピンクリボンプレストケアに募金しました。

## ●第8回ピンクリボンデザイン大賞入選

ノベルティ部門(トートバッグ)で、大3服美の番場千加さんのデザイン(手芸のリボンステッチから繋がったデザイン)が247作品の中から入選しました。

## ●学生作品の展示

緑苑祭にも出展した大3服美学生有志団体がピンクリボンをイメージしたトルソー(女性のしなやかさを表現)を製作し、北区庁舎入口・北とびあに期間限定で展示しました。



トルソーがかわいい!と来庁された方にも好評



緑苑祭で販売された服飾美術学科学生による手作りサッシュ

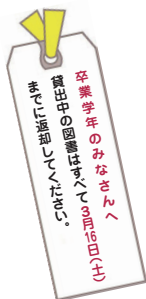


栄養学科学生考案の卵・乳を使わない「根菜のキッシュ」

## ●春期休業中の長期貸出

授業のない長期休業中は読書をして知識を蓄える絶好のチャンス! 4月から始まる新生活に向けて、たくさんのお本を読みましょ。

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大学1~3年、短大1年	1/23(水)~3/28(木)	5冊	4/15(月)
大学院在学年	1/23(水)~3/16(土)	10冊	3/16(土)
大学4年、短大2年	1/23(水)~3/16(土)	5冊	
大学院卒業学年		10冊	



# 博物館

企画展

## 西洋服装史

19世紀ヨーロッパのドレスを中心に好評のうちに終了

今回の企画展では、19世紀のヨーロッパで流行した特徴的なシルエットのドレスを中心に展示しました。当時の女性たちを魅了したドレスの美しさは今も健在、訪れた方々は優雅な装いに感嘆の声をあげ、熱心に見入っていらっしゃいました。



また、服飾美術学科の倉みゆき先生が制作したレプリカや、歴史をもとに学生が制作したドレスを紹介するコーナーは、「服の構造がよくわかった」「私も服装史を勉強して、ドレスを作ってみたくなった」等の感想をいただき、大変好評でした。



▲着装体験

企画展関連イベントとして開催した、能澤慧子先生による講演会や、19世紀の下着「コルセット」と「クリノリン」の着装体験にも



▲講演会の様子

次回の企画展 平成25年の春は「よそおうー江戸後期から昭和初期のきものを中心に」をテーマに、日本のおしゃれを紹介いたします。どうぞお楽しみに!

## 知識の宝庫「新聞」を有効活用しよう!

「日経、読んでる?」就職活動(以下就活)を行っている男子学生がOG訪問をしているCM中での一言「就活生は新聞を読もう!」という新聞社のキャンペーンです。

### ☆新聞を読むメリット

情報の豊富な新聞を読むことで、社会の事象を知ることができ、その結果、社会人としての教養が身に付きます。さらに、新聞は誰でも理解できるような端的に文章が書かれています。そのため、注意深く読むことで、文章の構成力や読解力、語彙力を養うことができます。つまり、総合的な国語力が身に付くのです。

### ☆新聞と仲良くなる!

新聞は知識の宝庫であり、最高の「教材」です。まずは興味がある記事から読んでみましょう。そして、少しずつ興味の幅を広げていってください。「時間が無い」という人は、見出しだけでも見てみましょう。ネットとは異なり、一覧性があるため、そ

### ☆就活でも情報入手手段として役立つ!

就活では、社会の仕組みや動向を知ることができ、同時に「時事問題(一般常識)」の対策を行うことが可



進路支援センター前に「新聞コーナー」を設置



入学式 68名の学生

	1限目	2限目	3限目
第1日 7月21日	入学式	お江戸の町を浮世絵から(遊びから創造へ)~江戸の暗号を解く~	フレイトプレイ(遊びから創造へ)~アニメで遊ぼう~
第2日 8月25日	学んでみよう! 縄文時代の人の暮らし	不思議! 何で消えちゃうの? ~おもしろ化学マジック~	
第3日 9月15日	お金のひみつ	Honda環境わごん しょっぱくて甘い? ~海の水から塩をつくらう~	
第4日 10月6日	つくらう! 食べよう! キャンプカレー 遊ぼう! 飛ばそう! ジャンボシャボン玉		
第5日 11月17日	食リンピック ~めざせ! 金メダル!!~		修了式
12月22日	交流・発表会 (大宮ソニックシティ)		



食リンピックにてメダルを受賞した学生たち

## 「子ども大学 さやま・いるま」

## 第2期修了

地域連携協力推進センターは狭小校舎にありまます。開かれた大学として地域の方々を対象に、大学の専門性、特性を生かした講演会や公開講座を開講しています。

### 子ども達の関心を引出す講座内容が人気!

平成24年度は狭山市・入間市の教育委員会と共催事業等で連携を深める中、埼玉県及び両市と本学の共催で小学4~6年生を対象に

「子ども大学さやま・いるま」が開講されました。第1回の「お江戸の町を浮世絵から」のぞいてみると、「昔の江戸の様子や子ども達の遊びが分かって興味深かった」との感想が聞かれました。次回の参加希望者も多く、また、保護者にも工夫を凝らした講座内容に高い評価をいただきました。

また、入学式ではOGの緑密マンドリン、修了式ではマンドリンクラブの演奏があり、おごそかな式を盛り上げ、来賓をはじめ保護者の方に大変好評でした。

## はしかに注意!!

## 保健センター

- ①感染力の強いはしか**  
はしかは咳・くしゃみ・空気中を漂うウイルスを吸い込むだけで感染します。具体的には教室で1人はしかの人が出ると免疫を持っていない人は90%以上の確率で発生します。感染力が強いため予防が大切です。
- ②はしかってどんな病気?**  
潜伏期 初めの10~12日は無症状  
カタル期 4~5日間。38度台の熱。咳・鼻水・だるいなど風邪のような症状。  
発疹期 コプリック斑という白いぶつぶつが口の中にできたり、体に赤いぶつぶつがでる。  
回復期 徐々に症状緩和する。
- ③風邪のような症状が出たときは...**  
風邪のような症状が出たときは、病院受診し、学内でははしかになった人がいることを伝えてください。
- ④抗体価(はしかの免疫力があるかどうか)検査のすすめ**  
予防注射を打っていても、徐々に免疫が落ちていくという報告があります。一度自身の健康管理と周囲に感染を広げないためにも、抗体価を調べ、免疫力がない場合には予防接種をお勧めします。
- ⑤はしかになってしまったら...**  
発疹(ぶつぶつ)をともなう発熱がおさまっても、3日間は出席停止です。(法律で決まっています。)保健室にも連絡してください。TEL: 03-3961-2306





### 白藤プロジェクト 農林水産大臣賞受賞!

全国の頂点に

11月18日、東京秋葉原アキバスクエアにおいて行われた特定非営利活動法人日本食レストラン海外普及推進機構(JRO)主催「TOKYO農業祭」食と農林漁業大学生アワードにおいて、白藤プロジェクトが初代の農林水産大臣賞を受賞しました。

このアワードは、日本各地で活動する地域活性化や地域振興に関わる180の大学生グループに参加を呼び掛け、一次審査を通過した家政大を含む11団体(京都大、東農大ほか)がステージで活動報告を行うものです。白藤プロジェクトは最



あうんの呼吸で、活発にプレゼン!

優秀団体として、唯一の賞をいただくことができました。

私達は、古代米「白藤」の復活と今後の展望、都内の小学校で行っている食育活動、そして力を入れているアレギー支援についてプレゼンをしました。

今回、新潟の農家・企業の皆様のご支援のもと、白藤プロジェクト代々の先輩方、そしてこの一年共に活動してきた仲間と築き上げてきた白藤プロジェクトをこのような形で評価していただき、非常に嬉しく思います。この評価を力にしながら、今後も前進していきたいです。

第6期リーダー  
大3管士 鮫島梨紗  
左より 大1管士 松本さん、大3管士 鮫島さん、短2管士 野中さん



食と農林漁業の祭典 ~生産者と消費者、日本と世界を結ぶ~

### 中学校・高等学校

#### 附属中学・高校の給食施設のランチ(レシビ)が本になりました!

附属中・高栄養教諭・管理栄養士の村上まさ子教諭が、「栄養バランスが良く、おいしい!」と生徒・教職員・保護者等から大好評のランチメニューの中から、全37種をカラーページで分かりやすく紹介したレシビ本を出版しました(パワブ出版)。旬の食材を使った季節の献立や、受験生応援メニュー、簡単に栄養価の高い朝食まで、世代を問わず幅広く活用できる一冊になっています。フェイス



KASEIスクールランチを再現!

### 学生食堂に電子マネー対応の食券売機を導入!

6月12日、85周年記念館1F学生食堂に、電子マネーPASMO/Suica対応の食券売機を導入しました。学生有志団体「食ラボ」の意見を反映したもので、食券購入時、スリーステップ(メニュー選択・電子マネータッチ・食券購入)とわずか3秒で購入でき、混雑改善に役立ちます。荷物を持っていても、お釣りをしなくても手間がなくなり、楽々食券の購入ができます。学内では、ファミリーマートでチャージすることが可能です。



子ども達自身が創りあげたダンスを踊る年長組



電子マネーで食券購入!

**混雑化にストップ! ぜひ、ご活用を!!**

ここが便利!

- ★スピーディー(わずか3秒で購入可能)
- ★小銭いらす
- ★釣銭の取り忘れなし
- ★片手でも楽々操作
- ★学内でチャージ可能



### 一コースファイル

#### 渡辺学園在学生特待生奨学金採用者へ授与

7月10日、渡辺学園在学生特待生奨学金授与式が行われました。この奨学金制度は平成23年度に本学創立130周年を記念して創設され、学業成績、人物等に



学長より採用通知の授与

ついて極めて優れた学生を選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除となります。

今年度は大学45名、短大6名の合計51名が採用されました。授与式では、学長より奨学生に採用通知が手渡された後、理事長、学長より、「学生代表として各種学園運営に協力いただきました」との挨拶がありました。



情報交換の様子(16学館 Luce)

本学学長の挨拶の後、第1部は法政大学キャリアデザイン学部長の児美川孝一郎先生が「大学におけるキャリア支援・教育の現状と課題」と題して基調講演をされ、第2部は「スタートアップセミナー」の開設に向けて」と題して、4学科の先生方の発表とパネルディスカッションが行われ、活発な議論が繰り広げられました。さらに、第3部では、教職員カフェ方式により、「新しい時代の学生指導はどこを目指すのか?」について、幅広く活発な意見交換が行われ、実りある充実したものになりました。

### 市丸教授に全国栄養士養成施設協会会長表彰

11月3日、市丸雄平教授(栄養学科)は、栄養士の養成に貢献した功績を顕彰して、(社)全国栄養士養成施設協会会長より表彰状を受けました。

毎月第2木曜日に、65団体の部長が集まりサークル部長会が開催されています。9月20日、サークル部長会終了後、後期からのサークル活動をより充実したものにすることを目的に経過

85周年記念館前広場では、消防署の指導の元、消火器による消火訓練、応急救護訓練、起震車・煙体験ハウス体験等の実技訓練が実施されました。10月末に

開催された学園祭に向けて、参加団体の学生達の積極的な参加が目立ち、熱心に耳を傾け、真剣に体験に臨んでいました。

11月8日から15日まで東京都美術館で開催された公募展第45回創作手工芸展において、大3服飾美術学科の菅原遙菜さんが応募し、「ハーダンガーのペアクッション」が見事入選を果たしました。



入選作品「ハーダンガーのペアクッション」

### 節電継続にご協力を!

一昨年の東日本大震災発災から間もなく2年が経過しようとしています。平成23年夏期に電力需給ひっ迫を受けて実施された法律に基づく電気の使用制限は、発災間もない私たちに、節電が差し迫った課題であることを提示しました。本学園では、学生・生徒・教職員等関係者のご理解と、ご協力の結果、目標としてい

た対前年度使用最大電力の15%減を超える削減を達成することができました。この節電により、これまでの生活スタイル及び機器の使用等を見直し、工夫することによる節電の考え方が日常の中に浸透していきま

本学園では法律による節電の終了後も、継続して節電に取り組むことを決定しました。今冬もこれまで同様に、より安全で効果的な節電に継続して取り組むことをお願い致します。

なお、文部科学省より「今冬の電力需給対策について」(同省HP参照)により「数値目標を伴わない節電」要請通知がありました。

この会は、平成6年の「校祖渡邊辰五郎生誕150周年記念事業」を機に始まり、今年で19回目となります。